

令和3年度第2回地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会 議事要旨

日 時：令和3年7月7日（水）午後7時00分から午後8時50分まで
場 所：オンライン会議（事務局：茨城県西部メディカルセンター会議室）
出 席：落合委員、佐田委員、白川委員、原委員、高橋委員
事務局等：【茨城県西部医療機構】

水谷理事長、梶井副理事長兼病院長、佐々木筑西診療所長、佐久間副病院長兼事務部長、菊地看護部長、仁平事務部副部長兼地域医療連携部副部長、市村調整監兼総務課長、飯沼経理課長、小林経営企画課長、犬田人事課長、塚越医事課長、谷中地域医療連携室長、太田健診・予防センター業務課長、飛田筑西診療所長補佐

【事務局（筑西市）】

須藤市長、菊池副市長、平間保健福祉部長、宮田保健福祉部次長、國府田保健福祉部次長、仁平地域医療推進課長、荒井課長補佐、板谷係長、佐竹係長、大川主任、藤田主任

1 開 会

（司会より会議成立の報告）

2 市長挨拶

（須藤市長挨拶）

3 議事・報告

条例の規定により落合委員長が議長として議事を進行。

（1）地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度事業報告及び財務諸表等について
議 長 では、ただいまから議長として、会議を進行させていただきます。はじめに、次第の3、議事・報告の（1）地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度事業報告及び財務諸表等について、西部医療機構からお願いします。
機 構 （地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度事業報告及び財務諸表等について説明）

（2）地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度業務実績の小項目評価案について
議 長 続いて、議事・報告の（2）地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度業務実績の小項目評価案について、事務局からお願いします。
事務局 （地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度業務実績の小項目評価案について説明）

議長 只今、(1) 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度事業報告及び財務諸表等と(2) 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度業務実績の小項目評価案について説明がありましたが、ご意見・ご質問のある方、いらっしゃいますか。

委員 昨年度は、どの医療機関も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入院患者の数はかなり減りました。一方、決算をみると、予算よりは良い結果となりました。全体的な感触としてはどうでしょうか。

機構 DPC対象病院となり、診療単価が上がりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で患者数が減ったことにより、医業収益が下がりました。一方、新型コロナウイルス感染症重点医療機関となったことで入院病床確保事業補助金等を受けることができ、経営への影響を少なくすることができました。また、特別減収対策企業債を借入れることで資金不足に対応しました。

委員 多くの医療機関が同じような状況で決算を迎えました。西部メディカルセンターの場合は、これから成長していかないといけないところで影響を受けています。今回の決算は、将来を踏まえた時に、それ程悪いものではなかったのか、それとも心配が残るものだったのか、感触としてはどうでしょうか。

機構 経常収支比率は悪い数値ではありませんでしたが、医業収支比率は低い状態です。これは補助金を多くいただいた数値の表れであると思います。医業収益を上げるため、病床稼働率を向上させることが課題であり、人材を確保することが重要であると捉えています。職員一丸となって人材確保に取り組んで参ります。

機構 令和2年度当初に職員が感染者となり、2週間入院、外来を停止しました。入院患者数が元の水準に戻るまでに3か月かかりました。そういった中、県等からの要請により重点医療機関となり、病床確保のため、地域包括ケア病床を休床し、HCUの一部もコロナ病床に充てたことで、病床確保補助金を得られました。しかし、補助金はいつまでも続くわけではありません。地力をつけていく必要があります。

委員 茨城県は令和3年度も病床確保補助金は継続しているのですか。

機構 継続しています。

委員 病床確保補助金等で増益した分と空床確保により減収した分等のコロナによる影響と、法人の自助努力により増益した分と分けて整理すべきです。そうしないと将来的にどうなのかという議論が出来ないと思います。また、空床確保補助金は、下半期は出ない可能性があります。

委員 委託業務の適正化とはどういったことでしょうか。費用の削減に取り組んだとありますが、委託料が前年よりも9,000万円増えているのはなぜですか。

機構 経費の増はコロナウイルス関連の検査委託とベッドメイクの新規委託の影響です。

機構 委託業務の適正化については、開院前からの長期契約の委託関係を整理したものです。

機構 ベッドメイクもコロナの影響により必要となったものです。看護師をコロナウイルス

感染症対応のために重点的に配置したことによる人材不足に対応したものです。

議長 事務局から特に意見を求めたい箇所についてはいかがでしょうか。

事務局 法人評価と設立団体評価で差がある部分について意見をいただきたいと思います。

事務局 (資料3 P. 6 急性期を中心に地域特性を反映する医療の提供について説明)

委員 私たちは、それぞれの医療圏ごとの新入院患者数のデータを毎年取っています。それで見ると、平成28年と比較し、令和2年は自治医科大学付属病院への筑西・下妻医療圏からの流入数が減っています。それだけ西部メディカルセンターが診ているということなので、救急医療についての評価が4というのは妥当であると思います。

議長 全体の搬送件数が減っているので、受入件数の減はやむを得なく、応需率も高い水準であるため、評価が4というのは妥当であると思います。

事務局 (資料3 P. 18 医療スタッフの専門性・医療技術の向上について説明)

委員 目標値には至りませんでした。法人内での人材育成についてはよくできたのではないのでしょうか。評価が3というのは妥当であると思います。

委員 準備を整えていたとはどういう状況でしょうか。令和3年度は既に申込み等を行っているのでしょうか。特定看護師はパッケージ化されたカリキュラムを受講予定ですか。診療報酬改定により、影響が大きいのではないのでしょうか。

機構 準備を整えていたとは、研修を受講する段階で教育プログラム自体が中止となってしまったということです。認定看護師は今年度研修を受けています。特定看護師は希望者がいませんでした。

委員 希望制ではだめだと思います。診療報酬改定の際に大損をすることになるのではないのでしょうか。

議長 年度計画どおりできていないのであれば、3にする必要はないと思います。

委員 議長のいうとおりだと思います。

議長 コロナの影響もあったと思いますが、できるようになったら3にすればいいと考えます。

(賛成の声有り)

議長 それでは、評価は2とします。

事務局 (資料3 P. 37 効率的な運営及び管理体制の確立について説明)

委員 具体的な指標がないため、判断が難しいです。取組み自体はしているとは思いますが。

委員 「進捗状況に着手した」というのはどの程度のものなのでしょうか。3でも良いのではないのでしょうか。

機構 診療連絡会議に加え、理事長・病院長への経営状況の説明を開始しました。

委員 取り組んでいるのであれば3でいいのではないのでしょうか。

委員 3で良いと思います。

議長 取り組んでいることは事実であり、評価は3とします。それでは、小項目評価案について、意見を踏まえて、次回の評価委員会で引き続き協議していきたいと思いますが、

よろしいでしょうか。
(賛成の声有り)

(3) 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度業務実績の大項目評価案及び全体評価案について

議 長 続いて、議事の(3)地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度業務実績の大項目評価案及び全体評価案について、事務局からお願いします。

事務局 (地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度業務実績の大項目評価案及び全体評価案について説明)

議 長 只今、(3)地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和2年度業務実績の大項目評価案及び全体評価案について説明がありましたが、ご意見、ご質問のある方、いらっしゃいますか。

特に無いようなので、大項目評価案及び全体評価案について、意見を踏まえて、次の評価委員会で引き続き協議していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(賛成の声有り)

(4) 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第1期中期目標期間見込評価案について

議 長 続いて、議事の(4)地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第1期中期目標期間見込評価案について、機構と事務局からお願いします。

機 構 (地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第1期中期目標期間見込評価案について説明)

事務局 (地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第1期中期目標期間見込評価案について説明)

議 長 只今、(4)地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第1期中期目標期間見込評価案について説明がありましたが、ご意見、ご質問のある方、いらっしゃいますか。

議 長 財務内容の改善について、現在の診療体制のまま、改善できるのでしょうか。また、診療科ごとに評価してほしいと思います。地域に必要な診療科はどこか、どこを伸ばすべきなのかを把握し計画を立てるべきではないでしょうか。現在の診療体制のまま何とかしようとするのは難しいのではないかと思います。

機 構 経営状況が厳しいことは認識しています。診療科ごとの評価については、経営企画課を中心にヒアリングを進めており、今後の診療の方向性については考えています。また、流出していた患者が戻ってきている状況を見て、どんな疾患の患者が戻ってきているかを市と協力して分析をしていきたいと考えています。全床稼働に向けて人材確保に取り組んでいきたいと思っています。

機 構 科ごとの原価計算は、人件費を除いた原価計算をしていきたいと考えています。例え

ば手術で大きな収益を得ても、材料費で多くの費用がかかるとは、粗利は少ないです。また、コロナの影響を除いた収益について計算しており、何床稼働すればどれだけの収益が上がるのかを職員にも発信しています。受療動向についても調査していきます。

議長 市にアドバイザーが入っており、受療動向についてはわかるはずですが。評価委員会にもそういったデータを出してほしいと思います。また、職員に発信しているデータを評価委員会にも出してほしいです。具体的な数値を示していただきたいと思います。科ごとの数値は以前から話しているところです。紹介・逆紹介の参考になります。地域医療支援病院としてもその辺を取り組んでほしいと思います。

委員 DPC病院になったのだから、平均在院日数等を他院と比較してほしいと思います。医師への叱咤激励にもなります。平均在院日数がまだ長く、入院単価がまだ安いですが、これはなんとかかなります。一方で、粗利率を各科ごとに出しすぎると、モチベーションを下げることもつながるので、やりすぎに注意すべきと考えます。

機構 粗利は改善の余地を示すために出します。収益が低い診療科でも、粗利は高かったりもします。この病院のできた理由を考え、地域に求められていることを実行した上で安定経営を目指したいと思います。

委員 あらゆる支出を点検し、とありますが、材料費は減っている一方で、経費が増えています。経費は10億円あります。経費の削減についての取り組みはどうでしょうか。

機構 SPD業者との価格交渉を行っています。材料費について、分析を行い、削減を図りました。

委員 経費についてはどうでしょうか。

機構 経費で一番大きいのは委託費です。委託費は医療機器の保守や医療廃棄物の処理委託など、削れないものも多いです。直営か委託か、どちらが得策かを総合的に考えて検討し、令和3年度には成果を出せるよう努力していきます。

4 その他

議長 では、次第の4、その他について、事務局から説明願います。

事務局 (第3回評価委員会の日程について説明)

議長 では、皆様お忙しいとは思いますが、次回の委員会で、今回の意見を踏まえたうえでの評価案を、再度事務局より提示いただきたいと思いますので、引き続きよろしく願いします。

5 閉会